

県と企業が協力して公開型の研究に着手

～ 全県水辺のビオトープ化への新たな取り組み～

岐阜県基盤整備部河川課

1. はじめに

平成12年4月4日、岐阜県羽島郡笠松町・川島町地内の新境川で「自然共生型川づくり研究」に着手しました。

研究場では、「自然との共生」をテーマに研究者募集に応じた17グループ（19社）が、実際の河川でそれぞれの技術・製品の特色を生かした研究を実施します。

2. 研究の主旨

岐阜県では、関係行政機関が一体となって「自然豊かな魅力ある水辺」の再生と創出に取り組み、県下各地で良好な水辺環境を保全・創出する“全県水辺のビオトープ化”を進めています。

河川においては、すでに実施されている「自然共生型川づくり」により水辺のビオトープの保全・創出に取り組んでいますが、今後事業を進める上で、水辺のビオトープを再生・創出する工法・技術・関係製品のさらなる進展が重要な鍵を握っています。

このため、実際の河川に「自然共生型川づくり研究場」を設け、洪水に対する安全性や植生の回復状況、生物の生息環境の復元状況などの研究をおこない、ビオトープ化技術の進展を図ることとしました。

3. 研究の紹介

(1) 研究場の概要

研究場は、建設省国営木曾三川公園「木曾川水園」・建設省土木研究所「自然共生研究センター」・県営公園「世界淡水魚園」・日本道路公団のSA「ハイウェイオアシス」の複合施設である「河川環境楽園」の隣接地、岐阜県羽島郡笠松町地内の新境川にあります。

延長は、約200m、左右岸及び河床部に研究施設・製品を設置し自然条件下での調査研究を進めます。

(2) 研究の実施方法

岐阜県が、水辺のビオトープ化に関する研究を希望する企業を募集し、専門家で組織した「自然共生研究会」で、研究内容を審査し参加企業を決定しました。また、研究に必要な土地は、岐阜県が建設省より一括占用して研究参加企業に提供することとしました。

研究参加企業は、研究施設の整備や調査研究に要する経費を負担し、自社の製品や提案工法について、3年間にわたり調査研究を進め技術の進展を図ります。

研究施設の整備や調査研究を円滑に進めるため、研究参加企業により「自然共生型川づくり研究協議会」を設立しました。

(3) 自然共生研究会

研究をよりよいものとするため、専門家の方々から指導・助言をいただく場として「自然共生研究会」を設立しました。

研究会は、岐阜大学名誉教授の河村三郎先生を会長に、建設省及び岐阜県の専門技術者で組織しております。



写真 - 1 研究施設全景

(4) 研究テーマ

- テーマ 平滑化した河床及び河岸の再自然化と建設副産物を利用したピオトープ護岸工に関する研究
- テーマ 植生用ブロックの設置による緑化追跡調査
- テーマ 河川におけるワンドの形成と生態系の変化に関する研究
- テーマ ダクタイル鋳鉄製パネル枠（鋳田籠）による自然共生型河川工事システムの河川に対する影響
- テーマ 急勾配におけるアンカー付空積護岸工法の護岸の安定性と多自然型川づくりについて
- テーマ 環境保全型護岸ブロックの護岸機能と人為的植生復元効果の確認
- テーマ 環境保全型ブロックを用いた立ち護岸及び根固めブロックのモニタリング調査
- テーマ ポーラスコンクリート（多孔質）の球状玉石「ポカラブル」を使用した場合の植生及び生物の生息状況の調査と研究
- テーマ 水辺のピオトープを再生・創出するコンクリート製品に関する研究
- テーマ 多様な多自然型護岸工法における各種植生法の検証と水際構造の検討について
- テーマ 河川の郷土植生の回復
- テーマ ポーラスコンクリート植生護岸の研究
- テーマ リサイクル製品（植生ロール・マット）によるピオトープ化
- テーマ 多自然型河川護岸材料を用いた水辺のピオトープ化
ジオグリッドを用いた「補強土護岸工法」（河川補強土研究会）
- テーマ コンクリート製品を使用した場合における植物の生息状況及び生物の生息状況の調査・研究
- テーマ 植生の導入による河岸の安定化と植生及び河道の動態に関する研究
- テーマ 自然石魚巣ブロックとカンタン木沈木枠及び補強土壁テキストムアーを用いた植生護岸工の自然生態系への適合性についての調査・研究

4. 今後の予定

研究場での研究経過や結果については、1年間毎に報告書としてまとめ、公表する予定です。

また、研究場は県内をはじめとする全国の関係技術者の研修の場として活用するとともに、広く一般の方々に公開して、河川工事への理解と環境保全への意識の高揚を図る場として活用します。

平成11年度～12年度の予定

平成12年2月29日 整備中の研究施設現地見学会を開催

平成12年7月1日 「境川流域探訪見学会」

平成12年7月中旬 「夏期観察会」

平成12年10月中旬 「秋期観察会」

平成12年11月2日 「自然共生型川づくりシンポジウム」で研究報告

5. おわりに

この研究は、まだ始まったばかりですが、ここでの研究成果が全国で実施されている自然共生型川づくりで活用されることを期待しております。

また、皆様のご来場をお待ちしておりますので、見学を希望する方は下記までお問い合わせ下さい。

岐阜県基盤整備部河川課 企画調査係

（ホームページ：www.pref.gifu.jp/common/text/denshi/menu3/11652.htm）

〒500-8570

岐阜市藪田南2-1-1

TEL 058-272-1111（内線3728）

FAX 058-271-7683

E-mail c11652@govt.pref.gifu.jp

自然共生型川づくり研究協議会事務局

（株式会社 市川工務店内）

〒500-8518

岐阜市鹿島町6丁目27番地

TEL 058-251-2240（代表）

FAX 058-253-6370